

令和４年度第２回岡山県環境審議会水質部会 議事概要

(開催要領)

- 1 開催日時：令和４年９月１日（木）10:00～10:30
- 2 場 所：岡山コンベンションセンター ママカリフォーラム４階 402 会議室
- 3 出席者：
 - 委員（五十音順、敬称略）
沖陽子、小松満、小山洋子、杉山裕子／計４名
 - 事務局（県）
環境管理課長、事務局職員／計４名

議 題	瀬戸内海の環境保全に関する岡山県計画の変更について
会議資料	別添資料のとおり
議事概要	【議題１】部会長の選出、副部会長の指名 部会長に沖陽子委員が選出され、沖部会長から、副部会長に小松満委員が指名された。
議事概要	【議題２】瀬戸内海の環境保全に関する岡山県計画の変更について (資料に基づき事務局から説明) 審議の結果、継続審議とすることとなった。
一委員意見等一 委員	今後のスケジュールにおいて、第２回湾灘協議会開催と記載されているが、他府県では湾灘協議会が上手く機能していないと聞いている。県ではどのように取り組んでいるのか。
事務局	県計画を策定又は変更する際に、広く意見をいただく場として設定しており、先日、第１回湾灘協議会を開催した。 行政関係者のみではなく、県漁連、商工会議所、おかやまコープ、岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所など、民間企業や学識者を含む幅広い分野から参加していただき、意見をいただいている。 第１回湾灘協議会では、骨子の段階であったが、第２回湾灘協議会では素案を示し、幅広い意見をいただき、パブリックコメントと同様に最終案の作成に活用させていただく予定である。

委員	湾灘協議会の議事録は公開されるのか。
事務局	公開予定である。
委員	後日、確認させていただく。
委員	瀬戸内海の状況、施策の実施等に関連する 34 の指標の内、海域のクロロフィル a 及び栄養塩については、判定が△となっており、理由として窒素がノリの生産に必要な濃度を下回っているからと記載されているが、既に事業者などからの栄養塩の放出に関して緩和措置を行っているのか。
事務局	岡山県の海域では特に窒素が不足しがちであるため、窒素の排出量を増やすため、地元の自治体が運営している下水処理場において、季節別管理運転を行っている。 民間企業においては行っていない。
委員	具体的には、脱窒処理などをやめるということか。
事務局	脱窒抑制や硝化抑制など、窒素を増やす運転を行っている。